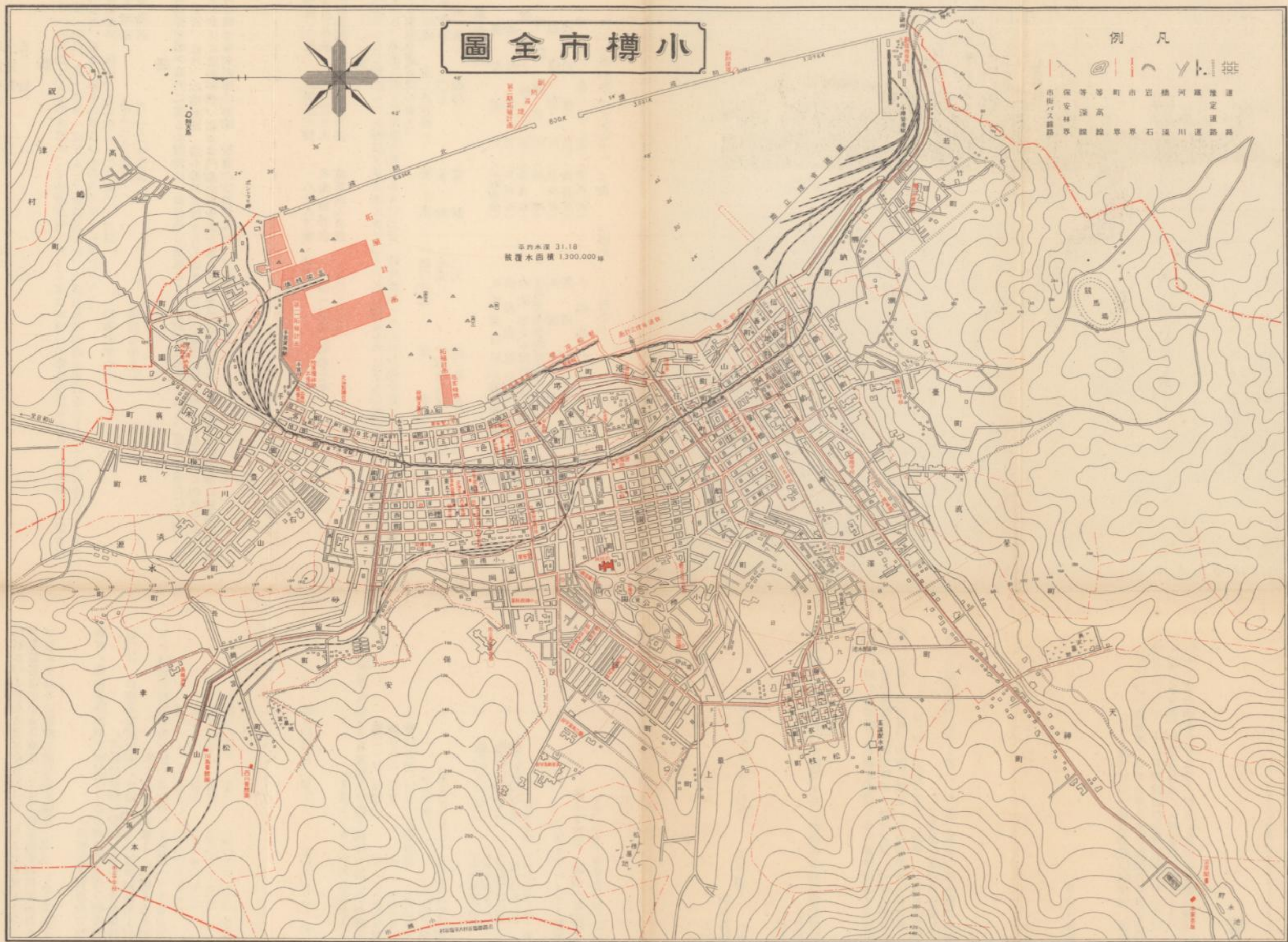




市立小樽図書館

名所案内

小樽公園 市内中央部の丘陵地帯にあり、展望するに好適、市役所、公会堂の建物を始め数万人を収容し得る大グラウンド、明治大帝御治績記念碑、忠魂碑等あり、港灣荷役の状況を眼下に収め得、尼港殉難者納骨塔グラウンド等あり

手宮公園 市内の北部にあり、港灣荷役の状況を眼下に収め得、尼港殉難者納骨塔グラウンド等あり

古代文字 手宮公園内にあり、洞窟に彫られたる古代象形文字、『我部下を平ひて海を渡りて開ひ此の洞窟に入る』との意味で、今を去ること一千二百六十年前、人々が此處に上陸し其墓誌に土古文字の群を以て彫んだものだと發表された、考古學界の珍寶で、史蹟として保存されて居る

水天宮山 市の中央海岸にあり、夏季には海風萬射の涼味にひたりながら港内と市街とを一眸に収め得る

日露戦役記念堂 手宮町近海郵船會社樓上に在り、日露戦役後樺太の日露國境劃定の爲兩國代表の會見した由緒ある記念堂

水源池 當市十五万人の需要を満す上水道の源、天神町(奥津水源地)朝里の二個所にあり、緑樹茂る溪谷には紺碧の淨水浸々として流え、春秋を問はず行樂の別天地なり

住吉神社 市の南西部、海を臨む三柱の神を奉安、當市の鎮守

清遊地

日和山温泉 市を去る北方約二里の海岸、アクシにて二十五分、奇岩重疊、心曠神怡からしむる數十丈の斷崖、湯上りの汗ばんだ體に海風を入れ、盃を手にして、日和山登臺に夕陽映へ、幾度かの帆船たるの絶景を望む時、百日の疲れ一日にて癒すべく、兩三日の逗留には絶好の場所

川島温泉 長崎方面へ十一、二分のドワイア、川島、西川の兩麓、温泉あり、太公望より池に承をたれ、大きさを自慢しつゝ、己が獲物に舌づゝみを打つ、又興味盡きざるものあり

本家茶屋 奥津水源地にあり自動車にて十五分、春は新緑の溪谷を、秋は紅葉の樹蔭に歩きながら、天然の美を賞す、その妙味すて難きものあり

オモイ地蔵尊 神祕と奇に因つて授子、授乳を願ふ婦人の參詣絶ゆることなし、自動車にて長崎方面より山腹を從走二十分にして至る、赤岩嶺の絶景、斷崖に記られたる又奇、目下加藤秋太郎氏が巨額の富を費して天然の景に人工の美を加へ一大遊覽地を建設中、明年夏完成の時は國立公園以上の勝地として推賞し得るならん

旅亭及旅館

旅亭 海陽亭、迎陽亭、曙野、中島屋、福井家等當市一流の旅亭、何れも北海美人の典型を誇る小樽美妓のサービス百パーセント

旅館 越中屋ホテル(色内町) 加賀屋旅館(色内町) 北海ホテル(稲穂町) 内藤旅館(稲穂町) 何れも施設完備し、親切なモットーとして居る

乗物案内

乗合自動車 小樽市街自動車會社の經營で市内一區七錢、二區以上十錢、運轉路線上記地圖参照

タクシ 市内八十錢均一、郊外は一圓乃至一圓五十錢

郊外自動車 小樽郊外自動車會社の經營、小樽駅前より磯谷、南島の海水浴場を経て余市に至る此料金は片道二十錢、往復三十五錢、南島迄片道三十錢、余市迄片道四十錢、往復六十錢

定山溪バス 南小樽驛を發し、奇勝、絶景を稱へながら一時半にて、定山溪に遊ぶことが出来る、料金は片道一圓五十錢、往復二圓五十錢、小樽定山溪自動車會社の經營である

みやげ品案内

海産加工品が第一で、若い人々には白練の細工等も喜ばれる

饅頭の子 六百六十枚綴入二圓より二圓五錢、實入まで色々

柏漬 鮭、筋子、鰯、帆立等種々一圓から四圓位まで

貝住加工品 箱入、罐入等容器によつて値段も區々、一圓から三圓位まで

昆布加工品 昆布菓子、昆布茶、おぼろ昆布等種々、三十錢から二圓位まで

煙 鮭は北見もので一尾二圓位から種々、鮭は一尾五六錢處

菓子 道産品百々七、八十錢

ビール 道産品一罐二十八、九錢

市史編さん室から保管転換